令和７年度 花巻農業高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

花巻農業高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン（2024～2026）」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

１　本 校 の 現 状

【定量的現状】

◆目標達成状況
時間外在校等時間が月80時間以上の教職員
・R6年度：０人（参考：R5：０人、R4：５人）

◆年次休暇の取得状況（年間１人当たりの平均取得日数）
・R6年度：15.5日（参考：R5：15.0日、R4：13.9日）

【定性的現状】

○教職員の意識
・ＩＣＴ機器の効率的な活用が全教職員に徹底されている。
・校舎施錠時刻（19時）までに退勤する意識が浸透している。

○管理職のマネジメント
・スクラップアンドビルドの視点を持って業務見直し等の対応を行う意識がある。
・生徒と関わる時間を確保できるよう、会議時間等の効率化を図る取組を推進している。

２　目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

○「岩手県教職員働き方改革プラン（2024～2026）に掲げる目標を達成します。（月80時間以上の教職員０の継続等）

○自分や家庭のための時間を十分に確保できているかを面談等を通じて確認し、年次休暇の積極的、計画的な取得を推進することで、年次休暇の平均取得日数を16.0日にします。

【目指す姿】

・生徒への質の高い教育を持続的に提供する観点から、働き方の見直しが図られている。
・業務改善について、教員から積極的に提案がなされている。
・教職員が、自己研鑽の時間を十分に確保できている。
・教職員がいきいきとやりがいをもって、生徒に向き合うことができている。

３　具体的取組内容 （２を達成していくために）

（1）	教職員の 健康管理	・管理職は日頃から、教職員に対して業務や健康面についての支援や助言を行います。 ・管理職による教職員面談を実施し、健康状態を確認します。
（2）	学校における 業務改善の推進	・適切なＩＣＴ活用について積極的に提案し、さらに業務の効率化を進めます。 ・校務事務について、管理職が必要に応じて助言や支援を行い、業務の負担軽減を図ります。
（3）	業務の明確化・ 適正化の推進	・校務分掌の割当について、業務量の適正化を図るよう、関係主任との協議を進めます。 ・部活動においては、本校の「学校の部活に係る活動方針」に基づいた活動を展開します。
令和７年度 重点取組事項		**～ 仕事と私生活の両方が充実したワークライフバランスを第一とした職場環境づくりに取り組みます ～ 教職員対象の学校評価項目「花農に勤務してよかった」→ 肯定的評価100%を目指します**

４　アクションプランの周知方法

・プランを学校のホームページに掲載し、職員会議等により教職員に説明します。
・学校運営協議会等により、地域・保護者に対してプランの内容及び取組状況等を説明します。

令和７年４月23日　花巻農業高等学校長　沼 澤 信 典